

大阪市の転出入の状況

(0～9歳・20～29歳及び30～39歳)

令和7年1月24日

1. 転出・転入・転出超過状況

図1-1 転出状況の比較

図1-2 転入状況の比較

図1-3 転出入超過状況の比較

図1-4 【参考】大阪市からの転出要因

図1-5 【参考】大阪市への転入要因

図1-6 【参考】大阪市の年齢別社会動態

図1-7 【参考】東京都からの転出状況(20~29歳)

図1-8 【参考】東京都からの転出状況(30~39歳)

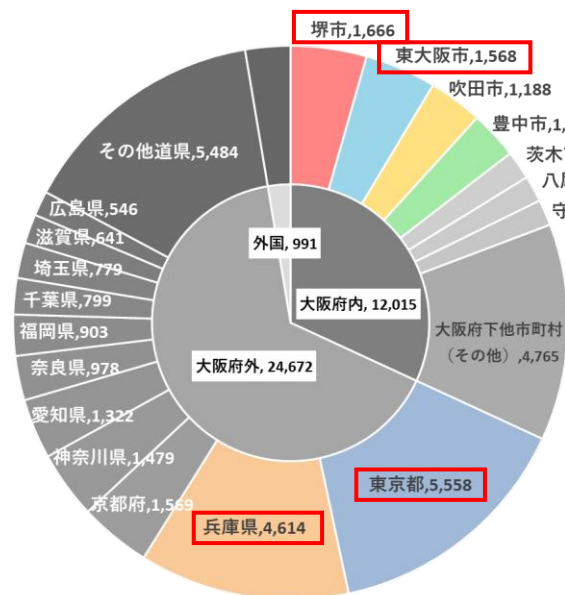
図1-9 【参考】東京都からの転出状況(0~9歳)

※図1-3のグラフは転出入超過となっている転出入先のみを抜き出して作成

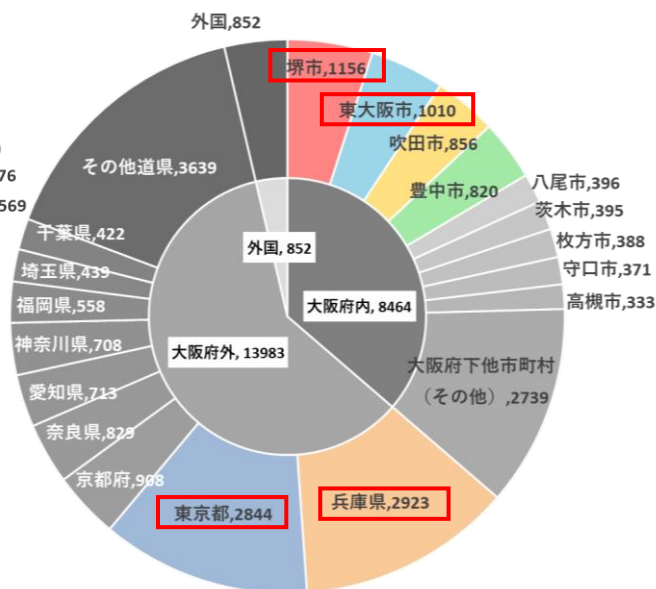
図1-1 転出状況の比較

- 大阪市からの転出先をみると、20代及び30代では「堺市」「東大阪市」、10歳未満では「堺市」「豊中市」への転出が多い。
- 大阪府外への転出は、20代及び30代では「兵庫県」「東京都」、10歳未満では「兵庫県」が多くなっている。

【20～29歳】 37,678人



【30～39歳】 23,299人



【0～9歳】 7,716人

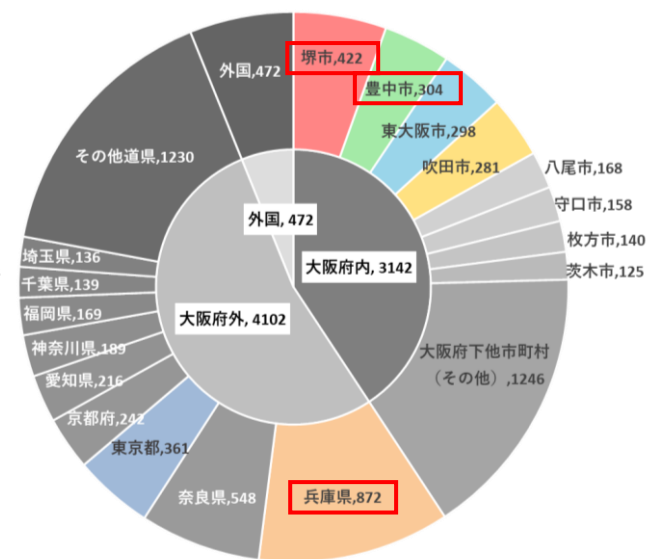
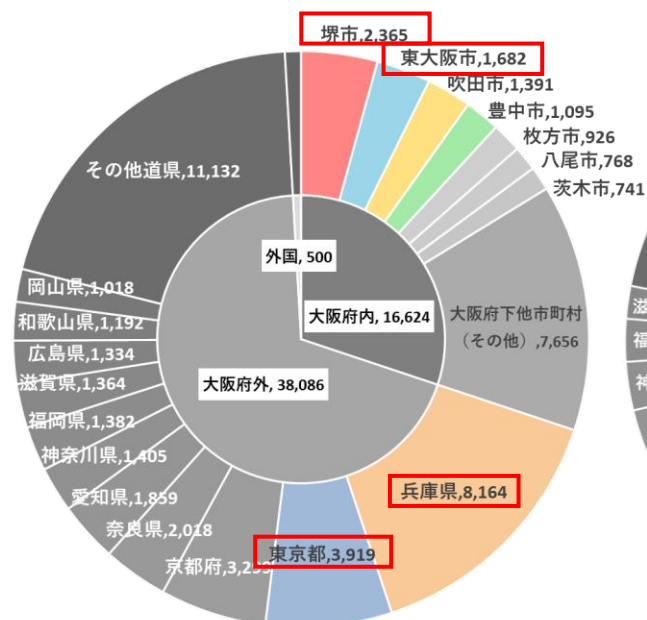


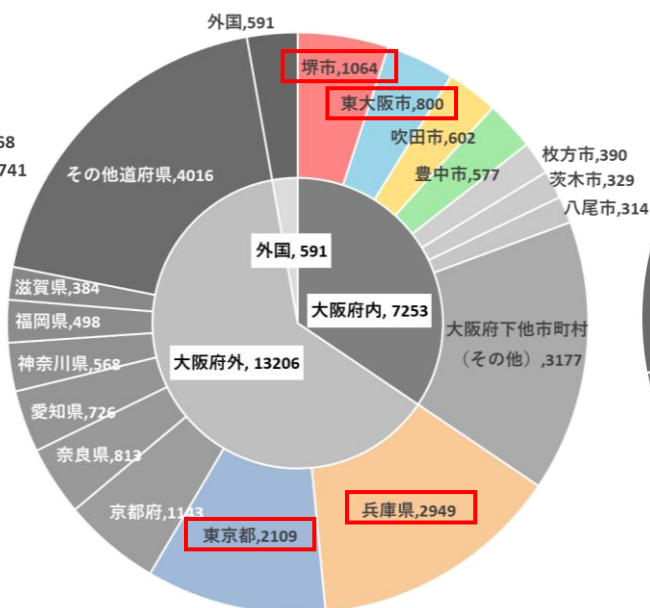
図1-2 転入状況の比較

- 大阪市への転入元をみると、いずれの年齢でも「堺市」「東大阪市」からの転入が多い。
- 大阪府外からの転入は、いずれの年齢でも「兵庫県」「東京都」が多くなっている。

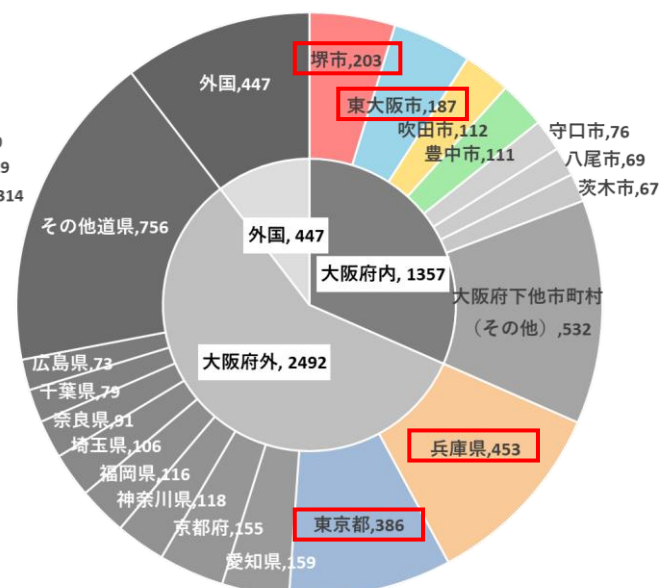
【20～29歳】 55,210人



【30～39歳】 21,050人



【0～9歳】 4,296人

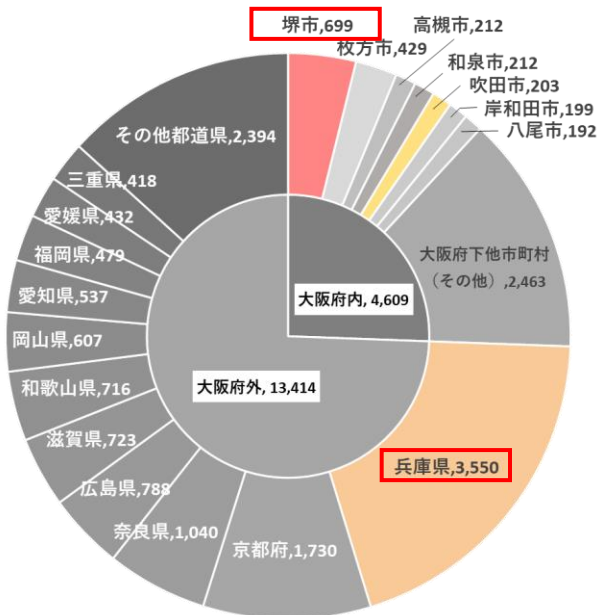


資料：令和5年度住民基本台帳（市民局）をもとに都市整備局が作成

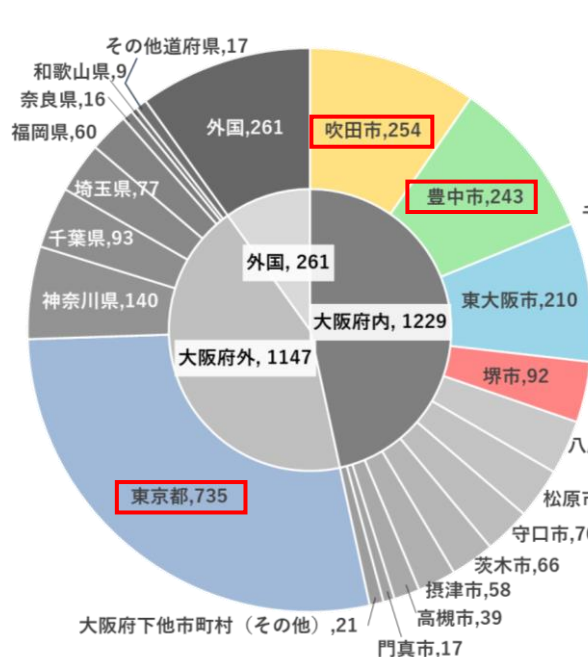
図1-3 転出入超過状況の比較

- 大阪市の転出入超過状況をみると、20代では転入超過、30代及び10歳未満では転出超過となっている。
- 20代の転入超過について、大阪府内では「堺市」からの転入超過が最も多く、大阪府外からの転入超過は「兵庫県」が突出して多くなっている。
- 30代の転出超過について、大阪府内では「吹田市」「豊中市」への転出超過が顕著であり、大阪府外への転出超過は、「東京都」が突出して多くなっている。
- 10歳未満の転出超過について、大阪府内では「堺市」への転出超過が最も多く、大阪府外への転出超過は「兵庫県」が最も多くなっている。
- 30代・10歳未満でいずれも転出超過の上位である「吹田市」「豊中市」「東大阪市」「堺市」や「兵庫県」は、20代では転入超過となっている。

【20～29歳】 転入超過



【30～39歳】 転出超過



【0～9歳】 転出超過

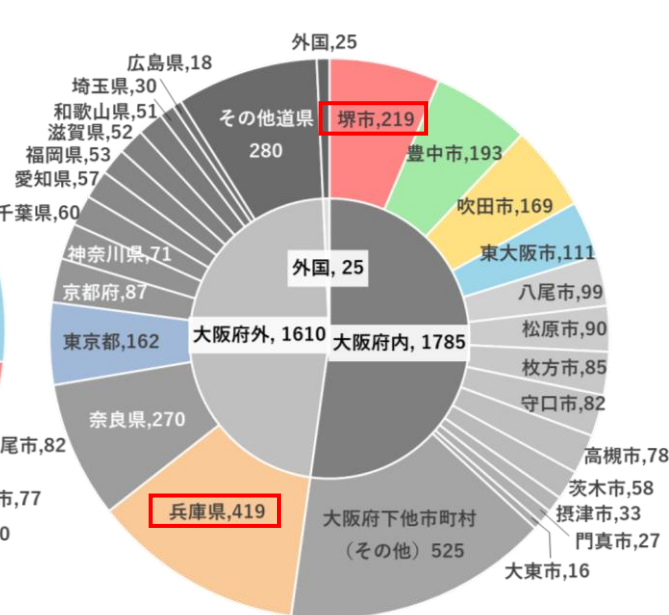


図1-4 【参考】大阪市からの転出要因

- 20代・30代の大阪市からの転出要因について、人口移動要因調査より考察する。
- 転出の理由について、**20代・30代ともに「仕事の都合」が最も多い。**
- 「仕事の都合」で転出した30代の理由の詳細をみると、**「転勤」が突出して多い。**
- 「仕事の都合」で転出した人は**東京圏への転出が多い。**
- 上記より、**30代の大阪市から東京都への転出は転勤が大きな要因であると推察**される。

【転居の理由】

上段：人、下段：%

	合計	(就職・仕事の都合 転勤など)	住宅事情のため	(職住近接など) 生活環境の 利便性	結婚のため	親や子どもと 同居するため	親や子どもの 近くに住むため	親や子どもと 別居するため	入学・進学など 学校のため	高齢者福祉施設 などへの 入居のため	離婚のため	その他	不明
全体	1,081	364	172	45	198	65	71	7	25	30	22	67	15
	100.0	33.7	15.9	4.2	18.3	6.0	6.6	0.6	2.3	2.8	2.0	6.2	1.4
20～29歳	305	128	36	10	86	4	9	3	2	0	5	20	2
	100.0	42.0	11.8	3.3	28.2	1.3	3.0	1.0	0.7	0.0	1.6	6.6	0.7
30～39歳	322	93	65	20	88	15	21	0	6	0	7	6	1
	100.0	28.9	20.2	6.2	27.3	4.7	6.5	0.0	1.9	0.0	2.2	1.9	0.3

【「仕事の都合」のうち主な理由】

	合計	就職	転勤	勤め先自体の 移転もしくは 廃止	転職	起業・開業	退職	その他	不明
全体	364	59	214	4	61	7	12	5	2
	100.0	16.2	58.8	1.1	16.8	1.9	3.3	1.4	0.5
20～29歳	128	45	45	1	28	2	4	2	1
	100.0	35.2	35.2	0.8	21.9	1.6	3.1	1.6	0.8
30～39歳	93	3	67	1	16	4	1	0	1
	100.0	3.2	72.0	1.1	17.2	4.3	1.1	0.0	1.1

【「仕事の都合」の地方別移動先】

	合計	近畿圏	東京圏	名古屋圏	中国	四国	九州・沖縄	その他	国外
全体	364	88	161	29	17	11	25	33	0
	100.0	24.2	44.2	8.0	4.7	3.0	6.9	9.1	0.0

資料：平成30年度大阪市人口移動要因調査（大阪市計画調整局）
ダウンロードファイル「転出」より抜粋

図1-5 【参考】大阪市への転入要因

- 20代・30代の大阪への転入要因について、人口移動要因調査より考察する。
- 転入の理由について、**20代・30代ともに「仕事の都合」が最も多い。**
- 「仕事の都合」で転入した理由の詳細をみると、
20代では「就職」、30代では「転勤」が最も多い。
- 「仕事の都合」で転入した人は**近畿圏からの転入が多い。**

【転居の理由】

上段：人、下段：%

	合計	(就職、 仕事の都合 転勤など)	住宅事情のため	(職住近接など) 生活環境の 利便性	結婚のため	親や子どもと 同居するため	親や子どもの 近くに住むため	親や子どもと 別居するため	入学・進学など 学校のため	高齢者福祉施設 などへの 入居のため	離婚のため	その他	不明
全体	1,159	444	86	151	223	40	52	25	35	15	28	55	5
	100.0	38.3	7.4	13.0	19.2	3.5	4.5	2.2	3.0	1.3	2.4	4.7	0.4
20～29歳	391	176	19	50	103	6	3	12	5	0	1	15	1
	100.0	45.0	4.9	12.8	26.3	1.5	3.1	3.1	1.3	0.0	0.3	3.8	0.3
30～39歳	315	109	18	44	96	6	7	7	7	0	9	11	1
	100.0	34.6	5.7	14.0	30.5	1.9	2.2	2.2	2.2	0.0	2.9	3.5	0.3

【「仕事の都合」のうち主な理由】

	合計	就職	転勤	勤め先自体の 移転もしくは 廃止	転職	起業・開業	退職	その他	不明
全体	444	89	231	6	88	7	10	10	3
	100.0	20.0	52.0	1.4	19.8	1.6	2.3	2.3	0.7
20～29歳	176	71	48	3	40	3	5	5	1
	100.0	40.3	27.3	1.7	22.7	1.7	2.8	2.8	0.6
30～39歳	109	7	71	1	24	3	0	1	2
	100.0	6.4	65.1	0.9	22.0	2.8	0.0	0.9	1.8

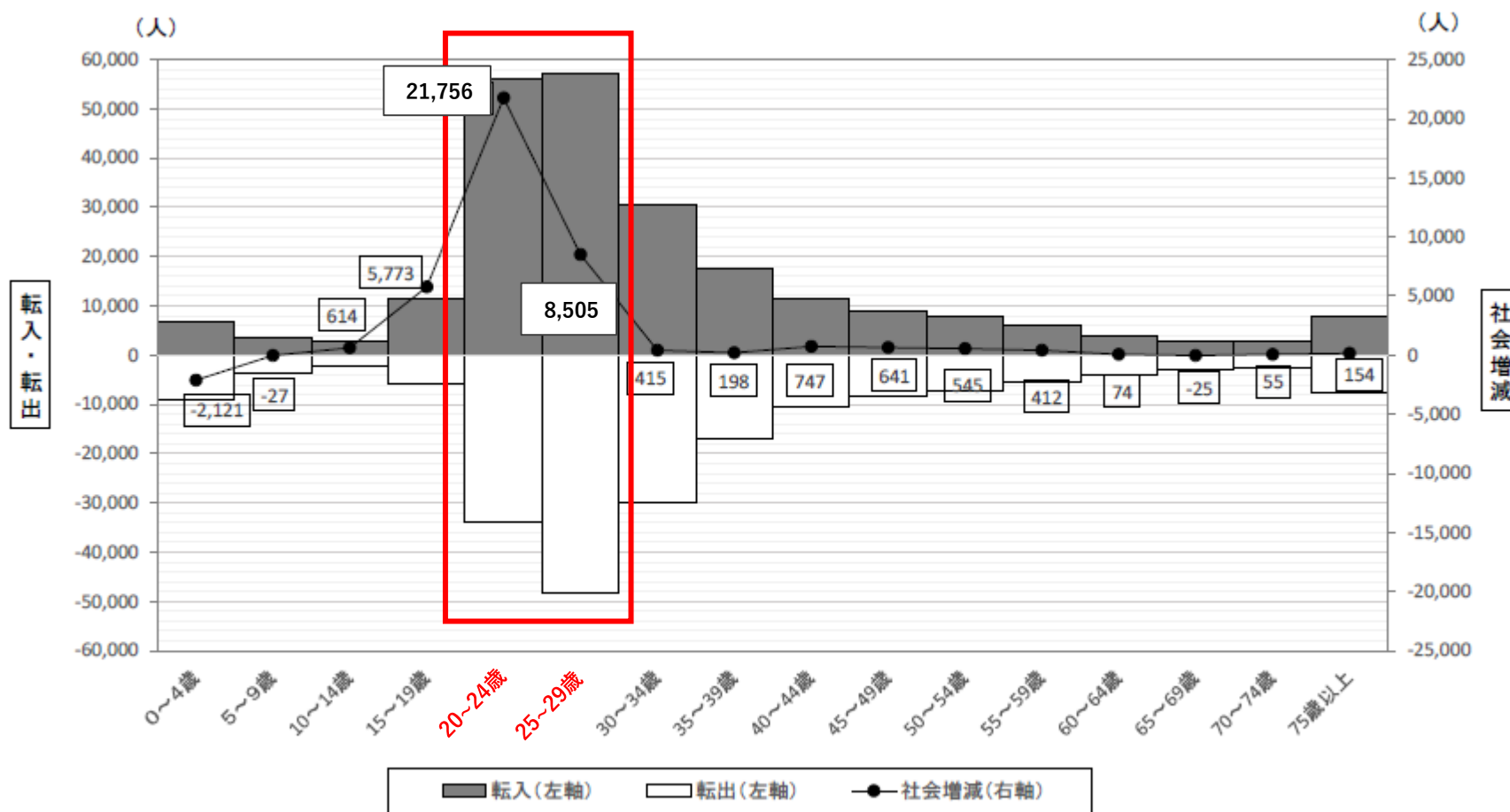
【「仕事の都合」の地方別移動元】

	合計	近畿圏	東京圏	名古屋圏	中国	四国	九州・沖縄	その他	国外
全体	444	158	116	29	35	17	34	36	18
	100.0	35.6	26.1	6.5	7.9	3.8	7.7	8.1	4.1

資料：平成30年度大阪市人口移動要因調査（大阪市計画調整局）
ダウンロードファイル「転入」より抜粋

図1-6 【参考】大阪市の年齢別社会動態

○ 大阪市の年齢別転出入状況をみると、20代の転入超過が顕著であることが分かる。

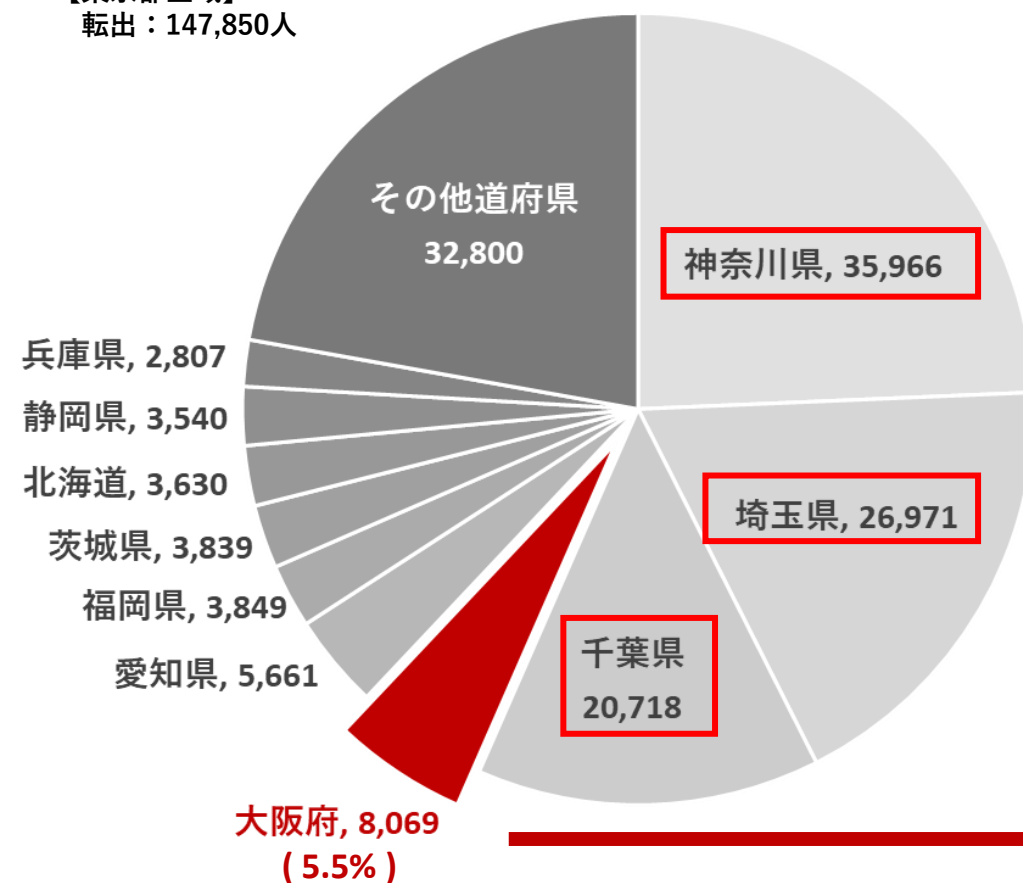


資料：大阪市の推計人口年報（令和6年）P.18（大阪市計画調整局）

図1-7 【参考】東京都からの転出状況(20～29歳)

- 東京都から他道府県への20代の転出状況を見ると、「神奈川県」「埼玉県」「千葉県」の関東圏への転出が多く、「大阪府」は4番目となっている。
- 大阪府下では「大阪市」が半数以上を占めており、次いで「吹田市」「堺市」が多くなっている。

【東京都全域】
転出：147,850人



【東京都から大阪府下への転出状況】
転出：8,069人

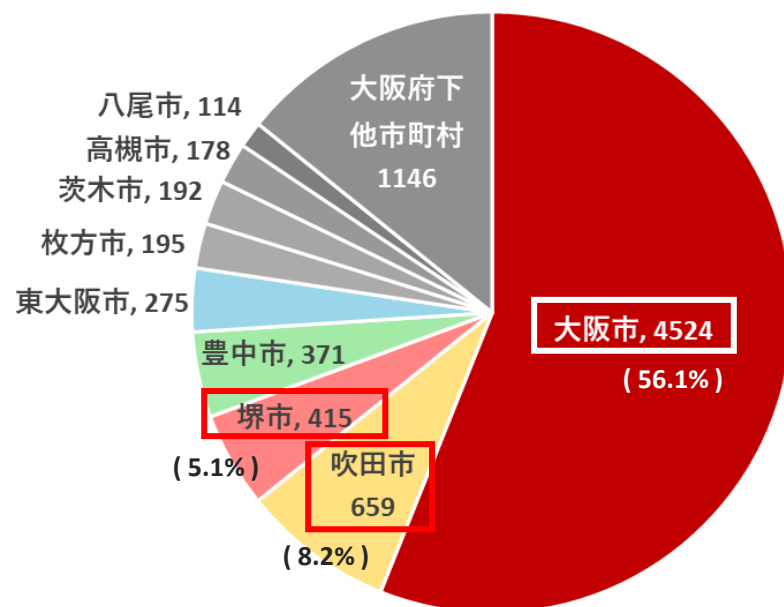
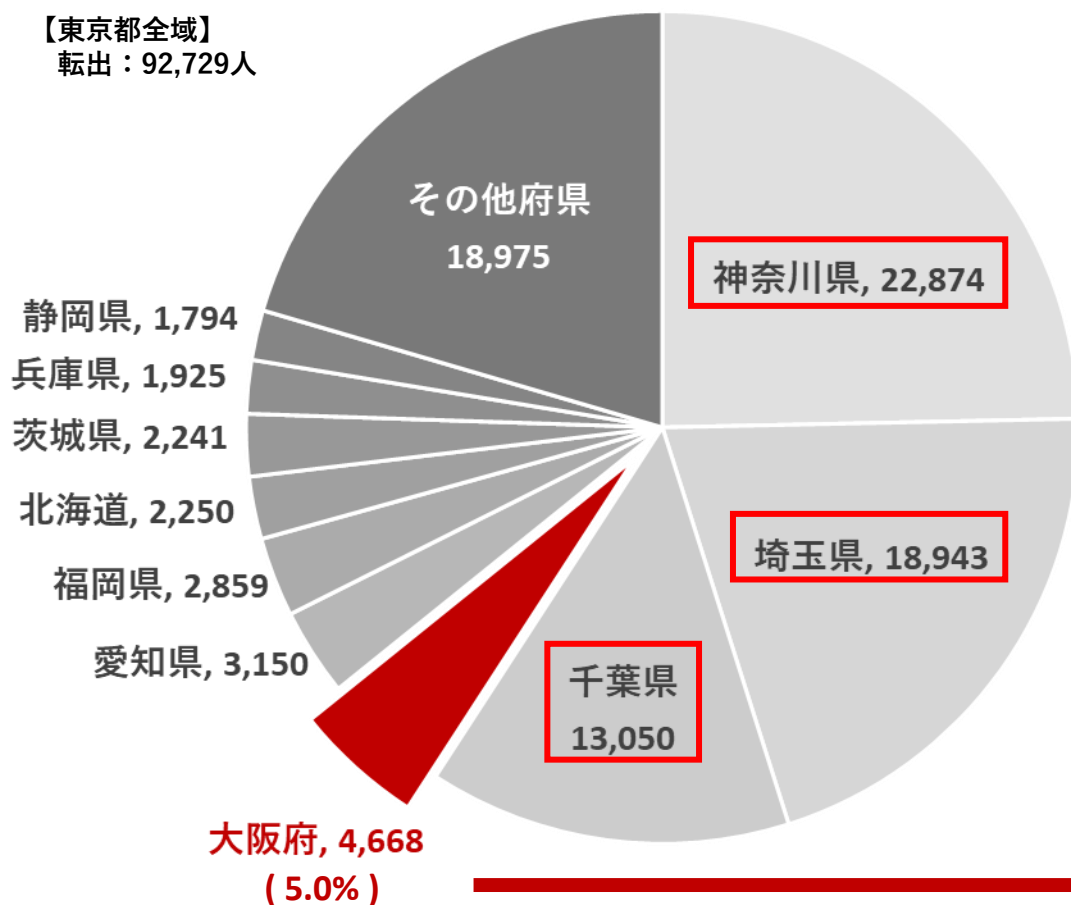


図1-8 【参考】東京都からの転出状況(30～39歳)

- 東京都から他道府県への30代の転出状況をみると、「神奈川県」「埼玉県」「千葉県」の関東圏への転出が多く、「大阪府」は4番目となっている。
- 大阪府下では「大阪市」が半数以上を占めており、次いで「吹田市」「豊中市」が多くなっている。

【東京都全域】
転出：92,729人



【東京都から大阪府下への転出状況】
転出：4,668人

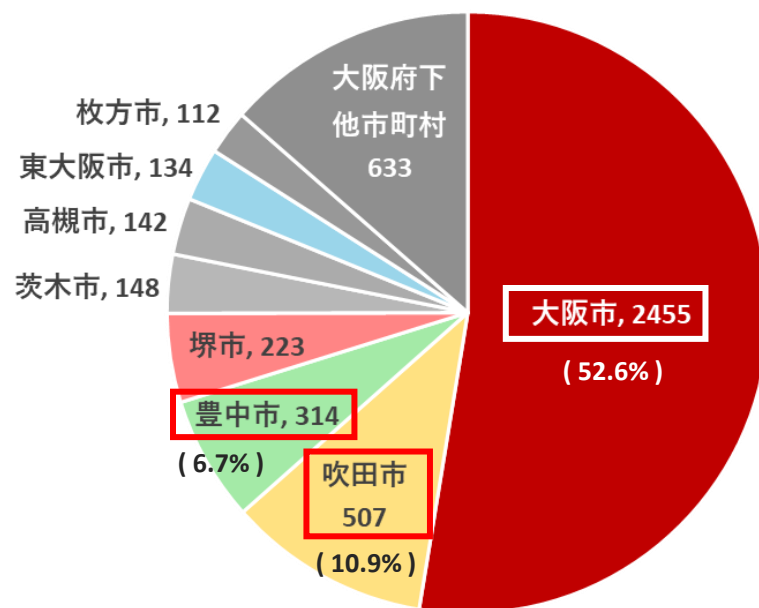
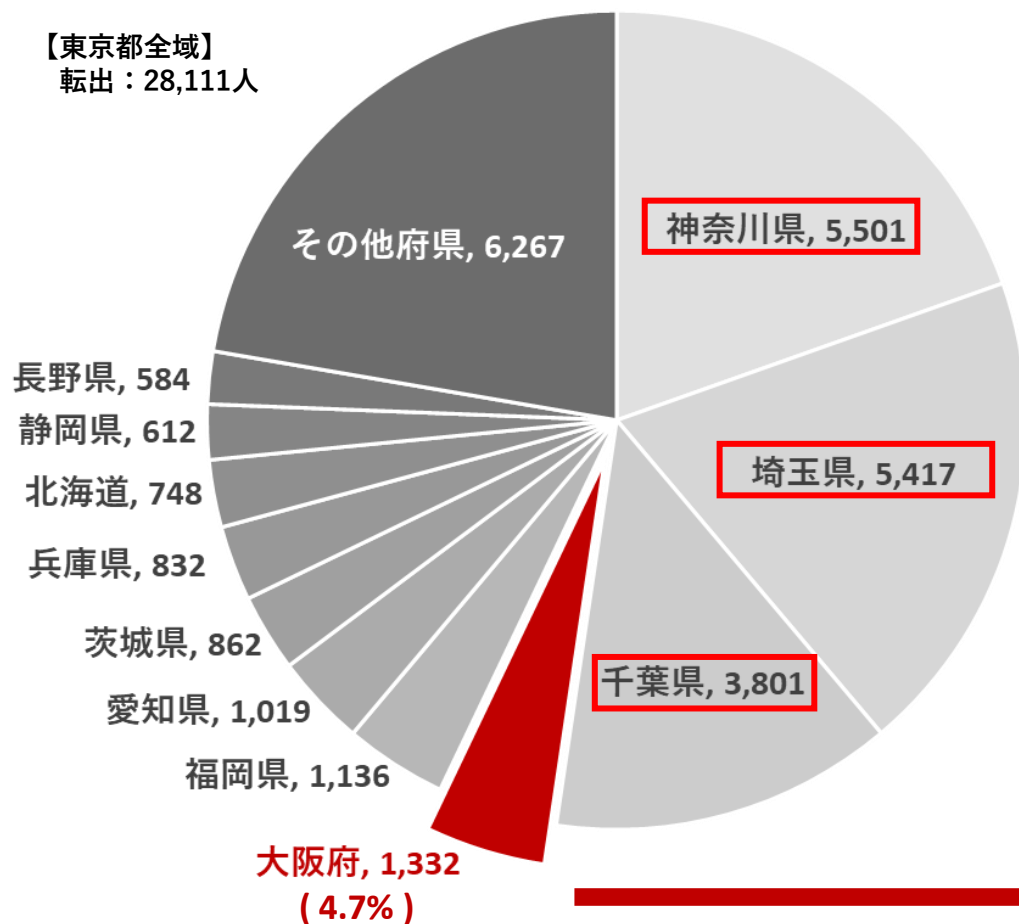


図1-9 【参考】東京都からの転出状況(0～9歳)

- 東京都から他道府県への10歳未満の転出状況をみると、20代・30代と同様に「神奈川県」「埼玉県」「千葉県」の関東圏への転出が多く、「大阪府」は4番目となっている。
- 大阪府下も同様に「大阪市」「吹田市」「豊中市」への転出が多いが、大阪市の割合が20代・30代よりも少なくなっている。

【東京都全域】
転出：28,111人



【東京都から大阪府下への転出状況】
転出：1,332人

